

こころせい

第56号

令和元年10月

発行 高知厚生病院
広報委員会

◆ 高知厚生病院グループの理念・基本方針 ◆

理 念

敬天愛人

基本方針

1. 地域の皆さまの尊厳を護り、心の通う医療と介護を実践します。
2. 自己研鑽に努め、自らと組織の発展向上を目指します。
3. 地域連携を進め、効率的に働きます。
4. 地球環境に留意し、災害に備えます。

美しくあること

院長 山口 龍彦

今回は、日常にある「美」について書きたくなりました。

病室に飾られている花を見るとホッとします。その美しく輝いている花々を通して、見舞いに来てくださったご家族やご友人の温かい気持ちが偲ばれるからです。気遣ってくださる方のお気持ちと花そのものにも励まされ、患者さんがどんどん元気になってくれるととても嬉しくなります。



私たちの日常は「美」に囲まれている

春、患者さんとともに桜の花見に行くこともあります。やっぱり、日本人は何ととっても桜が好き。「また今年も桜を見ることができた。」喜びに満ちています。私も桜を見ると、「時間よ、止まれ！」と心の中で叫びます。桜だけではなく。花桃、藤、ツツジ、サツキ、チューリップ、睡蓮。県内には色々な花の名所があり、休みの日には家族と共に出かけたりします。

夏、桂浜から眺める太平洋の美しさは格別です。空の青さと海の青さが交わって光っているように見えます。波の音や大自然の気に、体と心が癒されていくようです。

秋風が吹いて、気の早い桜などは少しずつ葉を落としています。柿の実もふくらんで、あとは色づくのを待つばかり。高知特産の色々な果物も秋の収穫期を迎えようとしています。果物はなぜこんなに美味しいのでしょうか。果物ばかりではありませんね。秋は戻り鰹もメジカも秋刀魚も清水鯖も、そして新米も。高知の食材はとても「美」味しいです。

冬は暖かい部屋で音楽を聴くのが好きです。ジャンルは様々で、クラシックから歌謡曲までなんでもオーケーですが最近では多という「美」声の女性ヴォーカルがマイブームです。

こうしてみると、私たちは常日頃から「美」に囲まれて生活しているようです。とても有り難いことであると思います。

あなたの感じる美とは？

近所の県立美術館に行ってももちろん美はあるのですが、絵画や彫刻の美は静止した美です。自然から美を抜き出してキャンパス上に、あるいは立体として見せて下さっています。

ところが、目の前の桜は、つぼみから、3分咲き、5分咲きなどを経て満開に至り、そして桜吹雪で散っていくダイナミックな美です。花を見るときは、私はやはり自然の中に出かけていく方を選んでしまいます。

あなたは、何を美しいと感じますか？見ること、聞くこと、食べること、体全体で感じること。感性の良い刺激のことを「美」というのかもしれないとも思います。

一番の美しさ

花の美しさは、私たちの心を慰め、豊かにしてくれます。高知の海の幸、山の幸も私たちの舌の喜びを通して私たちを満たしてくれます。

では、私たち自身はどうでしょう。私たち自身、美しくありたいと願っている人は多いと思います。そのために、女性であれば、お化粧もされるでしょうし、オシャレもされるでしょう。男性であっても、ヘアスタイルに力を入れ、様々なアクセサリーをつけておられる方もいらっしゃるでしょう。

でも、人が一番美しい姿は、なんだと思いますか？

ある本には、人は神仏に対する感謝の姿が一番美しいと書かれていました。

その一文に出会った時、遠い遠い昔の記憶が蘇ってきました。私が小学校の1年生から5年生の頃、開業したばかりの病院の2階の片隅に六畳二間とダイニングキッチン of 居室があり、一家4人がそこで暮らしておりました。ある朝、私は早起きして病院の屋上に上ってみますと、日の出に向かって合掌し、祈っておられる老婦人の入院患者さんがいました。

その姿を見て、子供ながらも神々しい、神聖な美しさに打たれ固まってしまったことを思い出しました。その方は、また1日が与えられたことを太陽神である天照様をはじめ日本の神々に感謝していたのかもしれないし、ご自分のご病気が早く治るように祈っていたのかもしれない。私の子供の頃は、毎朝日の出の太陽を拝む方はたくさんいらっしゃいました。

笑顔は美しい

その次に美しいのは笑顔です。心からの笑顔を見せて差し上げてください。その時が、あなたが一番美しい時だと思います。なぜかは分からないのですが、泣き顔や怒った顔が笑顔より美しい方に出会ったことはありません。

成長することは美しい

人は、努力することで、今までできなかったことができるようになります。それが自信となって、人生が輝きます。例えばついカッとなって怒ったり、そんな自分をいじめてみたりといった心の問題も毎日少しずつの努力を積み重ねれば克服できます。自助努力は美しさを増すということにおいても、大切なことだと思っています。

毎日、自分の課題を持ち、長所を伸ばし、短所を克服する努力をしてゆくこと。そして、少しずつ心が成長してゆくこと。そうすると本人にも、そして周りの人たちにも喜びが増えていきます。それも「美」ではないでしょうか。

果たして、あなたの周りに、そんなことをしている人がいるでしょうか？これは子供の時ならまだしも、自我の確立した大人にとって非常に難しいことかもしれません。

でも、完全な人間などいません。だから、長所も短所も持っているはず。仏教は本来「仏の教え」であると同時に「仏になるための教え」でもあります。完全な、あるいは完全に近い存在があるとすれば、悟りを得て仏となったお釈迦様とか愛の教えを説いたイエス様のような方でしょう。宗教は、ご葬儀や法事をするためでなく、教えによって自分を成長させるためにとっても大切なものです。

心を美しく鍛えた人は、それが身体にも沁みてきて、皆から美しい人と言われるようになるのだと思います。



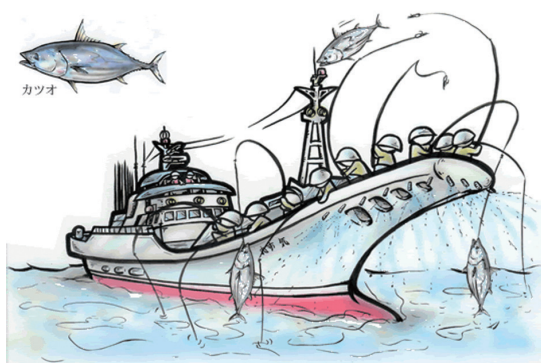
人間ドック or 人間ドッグ？ 高知厚生病院健診センターより

事務部長 明神 聡

人間ドックは、日本では昭和 29 年から始まりました。当初は、「短期入院精密身体検査」という呼称でしたが、同年にある新聞記者がそれを「人間ドック」という言葉で記事に書いたのがきっかけで、「人間ドック」が使われるようになりました。

ドックとは“dock”の事で長い航海を終えて港に戻った船をチェックし、具合の悪い箇所を直して再び航海に出る事となっております。

余談ですが、私の従兄弟が船長をしている第八十三佐賀明神丸も先日（8月中旬）、2月の出航以来、久々に数日ですが、船がドックで乗組員が地元（黒潮町佐賀）に帰ってきていました。ちなみに船頭を務めるのは明神学武さん。メディア等にもよく取り上げられ、5年連続漁獲高全国1位を誇る船の船頭としてその名を轟かせている方です。



船と同じように、人生の長い航海をしてきた人も、たとえ症状がなくても定期的にドックに入り、具合の悪いところがないかどうか調べ、もしあれば早めに治療したり、予防したり、問題がなければ健康に自信を得てまた人生の航路に出発する。是非、一度全身の健康チェックを行ってみてはどうでしょうか。人間ドッグ、人間ドック、声に出すと人間ドッグと言ってしまうそうですが、当然ながらドッグ“dog”は、「犬」であり、人間ドッグだと人間犬であり誤った表記となります。

当健診センターは、人間ドックの前段階である生活習慣病予防健診を（月）（火）（水）（金）午前、週4日行っております。ご予約、ご相談はお気軽に病院代表（882-6205）までお問い合わせください。

皆さまに健康に向き合って頂くことが、高知厚生病院健診センターの役割であり願いです。

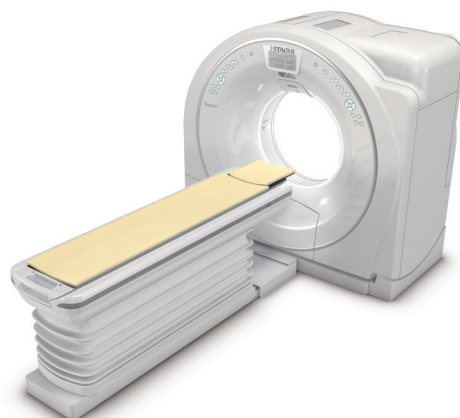
トピックス

この度、当院では9月25日に最新の16列マルチスライスCTを導入いたしました。

従来のCT装置では検出器は8列しかありませんでしたが、本装置では検出器が16列あるため、たくさんの情報を短時間に得ることができるようになりました。

短時間に広い範囲を検査することができるため、迅速かつ精密な検査が可能となります。検査が迅速に行えるため息止めが必要な時間が短縮され、患者さまの負担が軽くなっております。

詳しくは医師にご相談下さい。



▶「礼に始まり、礼に終わる。」一度は聞いたことがあるこの言葉。実は、剣道が由来になっている言葉だそう。最近のスポーツでは、勝った選手がガッツポーズをするシーンがよく見られる。日本古来からある剣道・相撲といった武道では、思いやりの無い礼節に欠けた行為と見なされる。

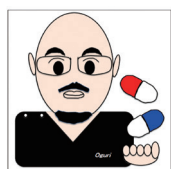
▶2013年の流行語大賞に選ばれた「お・も・て・な・し」も日本人の心の奥底にある「慮（おもんばか）る」「忖度（そんたく）する」「思いやる」の心をもとに、周囲や相手のことを深く考え、相手の気持ちを押し量り行動することが基本になっている。

▶私が、がんの末期に近づいた患者さん、家族と毎日接する中では、ご家族が患者さんの辛い気持ちを思いやり、悪い事実を伝えたくないという場面によく遭遇する。一方、患者さんからは、「もう覚悟は出来ているから、準備しないといけないから、はっきりと聴かせて欲しい。」という声が多く聞かれるのも事実である。

▶がんの告知に関するいくつかの調査によると、自分ががんになったら知らせて欲しい人は約80%であるのに対し、家族ががんになったとしたら本人に知らせると回答したのは約40%だそう。

▶他民族国家では、お互いの気持ちは口に出して伝える。または、文書で確実に伝えることをしないと逆に争いになるという。我々の暮らす高知でも、得られる情報は日々多くなり、価値観も多様化してきている。親子といえど考えが一致しないことは多くなっているようだ。

▶特に、高齢者の方ほど、死に対する心の準備をしている方は多いように思う。辛い思いをさせたくないという忖度する前に、まず、患者さん本人に「万が一、悪い情報でも聴きたいですか？」と尋ねてみませんか？



*ひと言コメント

診察室でがん治療が無効と判断され終了となった患者さん・家族に、「今後の病状変化や余命について聴いておきたいですか？」と尋ねると、5割の患者さんが「聴きたい。」と、もう5割の方が「聴かなくていい。」または「聴きたくない。」と答えます。いかがでしょうか？まずは、患者さん本人にお尋ねしてみてもいいのでは？

ご報告

日本ホスピス緩和ケア協会2019年度年次大会 地域連携・緩和ケア支援室 MSW 乾 亜矢

日本ホスピス緩和ケア協会 2019 年度年次大会（7月13・14日）に参加して

今回の大会のテーマは緩和病棟の役割の変化と在宅・施設との連携でした。

全国の病院、在宅医、訪問系の緩和ケアに携わる病院が集まっていろいろなテーマで話し合いをします。毎年思う事は、当院では病棟、在宅、施設内において様々な形で本人、家族の希望に沿う形で緩和ケアが提供されており、これほどサービスが選択できる病院は多くありません。全国でも誇れる所であり、これからも継続していかなければと、気が引き締まる思いで帰ってきます。サービスの質を落とさず継続して提供していくことは簡単なことではありませんが、一人一人の出会いを大切に誠心誠意、職務に取り組んでいきたいと思ひます。



「ふれあい看護体験実習生」を受け入れて

看護部長 岩本 泉

令和元年8月2日に高知県看護協会が主催している「ふれあい看護体験」の実習生に来ていただきました。

実習に参加された方は2名の高校生でした。1名は将来医師をめざしており、残り1名も理学療法士になることを目標にしているとのことでした。

病院の役割や医療従事者の仕事、看護とは、生きること、死ぬことなどの説明にも熱心に聞き入っていました。また、経営企画室の室長（事務職）にはサービス業につく心構えを講義してもらいました。真剣に聞き入る姿には感銘を受けました。

私たちも今一度原点を見つめなおし共に学習する良い機会となりました。



経営企画室日記

経営企画室 廣松 聖智

7/27(土)に当院とも連携していただいている社会福祉法人さわらび会様の夏祭り(納涼祭)に今年も参加させていただきました。

私自身は初めての参加でしたが、いつもお世話になっており、何かお返しが出来ないものかと考え、スタッフのひとりとして参加し、焼きそばの屋台を手伝わせていただきました。

味には自信はありませんでしたが気持ちだけは精一杯込め、丁寧に焼いた効果が皆様にも好評いただき完売することが出来ました。改めてありがとうございました。

さわらび会様の夏祭りで感じた熱気や参加者の皆様の笑顔に触れることができ、とても良い時間を過ごす事が出来ました。

人は笑顔がある場所に集まるというのを実感させてもらいました。

当院でもスタッフみんなで、一緒に出来る地域貢献事業などを企画出来ればと思います。

～夏祭り復活させたいなあ～！！



エマルゴを見学して

総務課 平井 誠

令和元年8月25日(日)、高知医療センターで開催された第16回高知エマルゴを見学してきました。エマルゴとは、“災害医療において最も重要なことは、限られた時間内に的確な判断(意思決定)を行い、限られた人的・物的資源を最大限に有効利用することにある”との考えを基に開発されたスウェーデン生まれの「災害教育用・机上シミュレーションキット」です。今回エマルゴを見学し、災害現場では医療従事者でもパニックになりがちですが、その中でも冷静な判断力、対応力が必要であると感じました。

今後もエマルゴや他の災害研修に参加することで、近い将来おこるであろう南海大地震の時に、どこにいても適切な行動が取れるようになることが大切だと思いました。



院内行事

納涼祭 8月14日

老人保健施設こうせい 介護福祉士 青木 恵子

8月14日老健にて納涼祭を行いました。
かき氷や綿あめ・ジュース等を準備し入所者に喜んでいただきました。

催し物は、魚つり、わなげをしたり、最後には、入所者とスタッフで、鳴子踊りをし楽しく過ごす事ができました。

今回は、10月には、運動会を行いますので、入所者と又、楽しくしたいと思っています。



夏祭り 8月20日

緩和ケア病棟 看護師 篠崎 美和



8月20日、緩和ケア病棟にて夏祭りを行い、病棟中に楽しい音楽やたこ焼きのいい匂いとともに、明るい笑顔や声が響き渡りました。

最初は遠慮気味であった患者様も一生懸命に何個もヨーヨーを釣ったり、たこ焼きやかき氷、綿菓子「美味しいね」「お腹いっぱい」と言いながら美味しそうに食べる患者様の笑顔を見て、患者様・ご家族とともに、スタッフも童心に返り楽しむことができました。

今後も入院生活の中で四季を感じながら、皆さんに楽しんでいただけるような催し物を行っていききたいと思います。

編集後記

先日県外の友人が来て、高知の新米を御馳走しました。

甘くて香りもあってとてもおいしいと、絶賛されとっても嬉しかったです。

ほかにも私が思いつく限りのおもてなしをしましたが、もっと高知の良い所、物を紹介できるよう勉強していきます！ A・I



当院は
平成15年9月22日より
日本医療機能評価機構
認定病院となっております。



◆ 特定非営利法人
日本緩和医療学
会より認定研修
施設として認定
されました



◆ 厚生労働省より
医師の卒後臨
床研修施設の
認定を受けまし
た



高知厚生病院

〒781-8121 高知市葛島1丁目9-50 Tel.088-882-6205 Fax.088-883-1655
ホームページ <http://www.kochi-koseihp.jp>

- 介護老人保健施設こうせい Tel.088-882-6205
- 通所リハビリテーションこうせい
- 訪問看護ステーションこうせい ■ 高知厚生病院健診センター
- Tel・Fax.088-885-6714
- 居宅介護支援事業所こうせい
- Tel・Fax.088-885-5779

医療法人 山口会

こうせい

〒781-8121 高知市葛島2丁目5-12 Tel.088-802-5530 Fax.088-802-5531

- 看護小規模多機能型居宅介護こうせい
- グループホームこうせい